

第43回全日本ジュニアバドミントン選手権大会 ジュニア新人の部室蘭地区予選会



期	日	2024年7月6日(土)
会	場	登別市総合体育館
主	催	室蘭地区バドミントン協会
共	催	西胆振中学校体育連盟
主	管	室蘭地区バドミントン協会

大 会 役 員

大会長	室蘭地区バドミントン協会会長	吉野 幸広
副大会長	室蘭地区バドミントン協会副会長	大山 直人
	室蘭地区バドミントン協会副会長	長尾 雅人
	室蘭地区バドミントン協会副会長	永瀧 幸治
参 与	室蘭地区バドミントン協会参与	中山 孝
	室蘭地区バドミントン協会参与	村田 弘志
大会委員長	室蘭地区バドミントン協会理事長	山平 博美
大会副委員長	室蘭地区バドミントン協会副理事長	紺野 宏之
	室蘭地区バドミントン協会副理事長	小笠原正光
	室蘭地区バドミントン協会副理事長	棟方 伸吾
大会委員	西胆振中学校体育連盟バドミントン競技専門委員長	加藤 康平

神山 秀人	高原 諒大	山谷 茂	鈴木 正規
細木 貴洋	藤田 佳嗣	八柳 晴加	田中 勝治
金本 利基	伊藤 陽人	北川 拓郎	松村 淳子
森 恭子	松田 冴子	小倉 敏	工藤 かおり
佐々木 知美	西 萌々子	鈴木 克治	島倉 健一
扇 和真	小林 博則	越智 雅樹	菅原 麻衣
廣中 長久	村上 航也	清水 陽子	南 知穂
神島 宗宏	横山 仁	福山 元気	川田 寿之

競 技 役 員

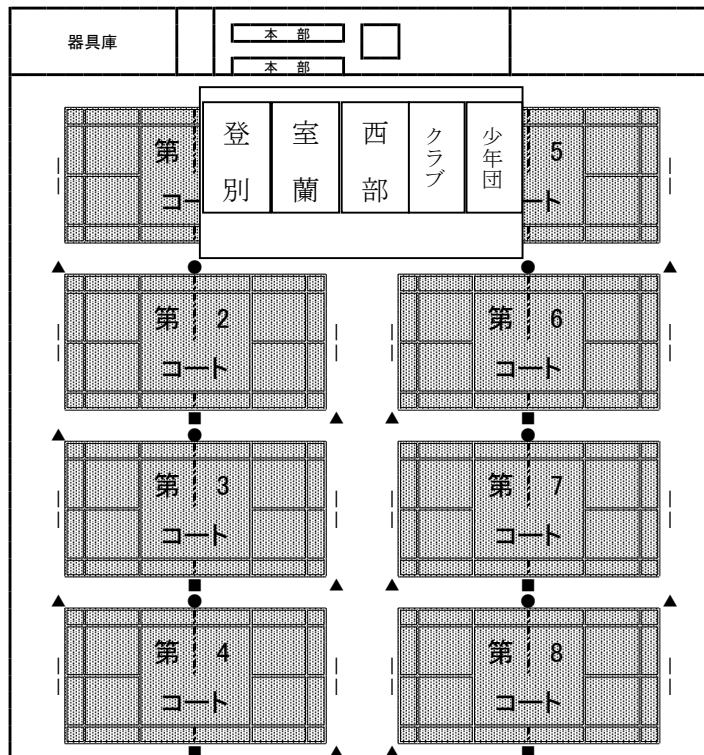
レフェリー (競技役員長)	室蘭地区バドミントン協会競技副委員長	岡本 祐太
デビュティレフェリー (総務部長)	室蘭地区バドミントン協会事務局長	佐藤 直嗣
総務副部長	室蘭地区バドミントン協会普及強化委員長	永井 一之
デビュティレフェリー (競技審判部長)	室蘭地区バドミントン協会審判委員長	高瀬 舞
競技審判副部長	室蘭地区バドミントン協会競技委員	今井 康博

式 次 第

< 開 会 式 > 7月6日(土) 午前9時00分～

- 1 選 手 整 列
- 2 開 会 宣 言
- 3 大 会 長 挨 拶 室蘭地区バドミントン協会会長 吉野 幸 広
- 4 レフェリー注意 室蘭地区バドミントン協会競技副委員長 岡本 祐 太
- 5 閉 会 宣 言
- 6 選 手 退 場

・整列順は以下の通り。各チーム1列で整列すること。



なお、開会式後の本部への挨拶は、全チームまとめて行う。

第43回全日本ジュニアバドミントン選手権大会

ジュニア新人の部北海道大会室蘭地区予選会 開催要項

- 1 主催 室蘭地区バドミントン協会
 - 2 共催 西胆振中学校体育連盟
 - 3 主管 室蘭地区バドミントン協会
 - 4 期日 令和6年7月6日(土)
 - 日程 開場 8:00 公開練習 8:15～
監督会議 8:30～ 開会式 9:00 競技開始 9:10
- ※閉会式は行わない。
- 5 会場 登別市総合体育館 〒059-0026 登別市若山町2丁目26番地1 TEL 0143-88-1116
 - 6 種目 男子シングルス・女子シングルス(2種目)
 - 7 競技規則 令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び公認審判員規程による。
 - 8 使用器具 令和6年度(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び第1種検合格水鳥球を使用する。
 - 9 競技方法 全種目ともトーナメント戦方式とする。3位決定戦を行う。
 - 10 参加資格及び参加制限
 - (1) 室蘭地区の中学校、及び義務教育学校後期課程に在籍する生徒で、令和6年度(公財)日本バドミントン協会へ登録済みの選手で、北海道大会への出場意思がある者。
 - (2) 小学生ABC大会室蘭地区予選会のAクラスで入賞した以下の4名の選手を小学生代表とする。
小学生男子…川岸春翔⑥(壮瞥JBC)、今井大翔⑥(壮瞥JBC)、山田蒼也⑤(壮瞥JBC)、湯浅真弦⑥(登別)
小学生女子…尾山桃花⑥(港南飛翔)、志田夏羽⑤(伊達)、佐藤衣緒菜⑤(伊達)、早坂絃葉⑥(高砂JBC)
上記の選手で、今年度北海道小学生ABCバドミントン大会北海道予選会のAグループ決勝進出者がいた場合、同大会のAクラスベスト8から繰り上げて出場できる。
 - (3) 各中学校、地域スポーツ団体の割当数は各種目4人までとする。
 - (4) 下記の北海道バドミントン協会競技委員会が定める規定に該当する選手は、推薦選手として北海道大会に出場することができる。
 - ①今年度北海道小学生ABCバドミントン大会 北海道予選会Aグループ決勝進出者
 - ②ジュニアナショナルメンバー
 - (5) 拠点校部活動(以下、拠点校という)で参加する場合には、以下の条件を満たしていること。
 - ①(公財)日本中学校体育連盟が定める「拠点校部活動規程」(別紙)に該当している。
 - ②参加者は、開催年度の大会開催基準7の参加資格を満たしている。
 - ③拠点校は、都道府県中体連に加盟している。
 - ④拠点校としての大会参加が、都道府県中体連に承認されている。
 - ⑤参加申し込みの手続きは、該当校の校長が行う。
 - ⑥拠点校の引率・監督は、拠点校の校長・教員・部活動指導員・又は適切であるとして校長が認めた外部指導者(コーチ)とする。
 - (6) 大会当日、該当学校顧問、地域スポーツ団体指導者、またはそれに代わる引率者がいること。
 - (7) 参加者は開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。

11 参加料及び納入方法

- (1) 参加選手1人につき 1、000円
- (2) 大会当日、受付時に学校、地域スポーツ団体または少年団が一括し現金で納入すること。

12 申込要項

- (1) 室蘭地区バドミントン協会ウェブサイトまたは、メールにより、大会要項と申込フォームをダウンロードする。

室蘭地区バドミントン協会ホームページ <http://muro-bad.be-sports.net/>

- (2) 参加申込書に必要事項を入力し、メール添付して送信する

【メール送信先】

室蘭地区バドミントン協会

岡本 祐太 Tel:090-9523-2770

E-mail : nt.y.okamoto@gmail.com

- 13 申込締切 令和6年6月26日(水) 16:00必着とする。

- 14 表彰 各種目3位まで賞状を授与する。

- 15 組み合わせ 組合せは、関係者立ち合いの上、室蘭地区協会役員がシード法により抽選を行う。

期 日 令和6年7月3日(水) 18:30～

会 場 室蘭市立港北中学校

- 16 個人情報の取り扱い(利用目的)

大会主催者は、個人情報の保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟個人情報保護方針・規定に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・報道発表等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する選手はこれに同意する。

- 17 南北海道大会への参加

各種目4位に入賞した選手を室蘭地区代表選手とする。

第43回全日本ジュニアバドミントン選手権大会ジュニア新人の部
兼ジュニア研修会

開催地区：北見地区

会 期：8月10日(土)～11日(日)

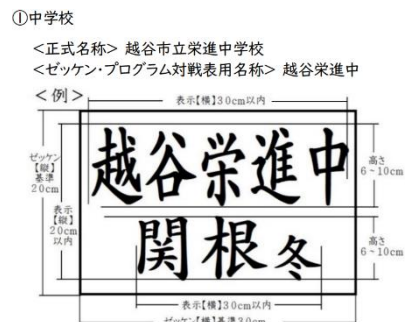
会 場：北海道立北見体育センター

- 18 その他

(1) 服装

- ①競技用ウェアは、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。上衣の背面中央部には、縦20cm、横30cmの範囲内に校(地域クラブチーム)名及び姓の表示をすること。その際に、競技用ウェア上衣背面にロゴや規定外の文字を直接プリントしている場合は、ゼッケンを用い、四隅を留めてそれを見えないようにすること。また、表彰・入退場・あいさつの際には、上衣の裾は下衣の中に入れること。

②上衣の背面中央に必ず中学校（地域クラブチーム）名及び姓を明記（上段：学校（地域クラブチーム）名、下段：姓、）し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。チーム内に同姓がいる場合には名前の一文字目を小さく入れること。ゼッケンを使用する場合、白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする。（ゼッケンの場合の文字の色は、黒色または濃紺色とする。）



- (2) 参加しない場合は、申込締切日までに大会事務局に連絡すること。
- (3) 申込締切後の変更・参加料の返却はしない。
- (4) 外部指導者（コーチ）は当該学校長が認めた者で、北海道中学校体育連盟に登録されたものとする。各学校のマネージャーは当該学校の教職員または、生徒とする。また、地域スポーツ団体など（地域クラブ活動）のマネージャーは当該団体の構成員とする。
- (5) 部活動が設置されていない学校の生徒の引率は、保護者又は外部コーチが代行することができる。
- (6) 大会当日の開館時刻は8時です。
- (7) 競技は、原則、敗者審判制で競技を運営する。
- (8) 大会期間中の負傷・疾病については、可能な範囲で応急手当のみを行うが、責任の一切を負わない。（傷害保険等は各自で加入する）また、本大会は独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。
- (9) 学校行事等により、上位大会に参加できない場合は、本予選会への参加を認めない。
- (10) 会場利用について
 - ① ごみは、各自で持ち帰りをお願いします。
 - ② 各自、靴袋を持参してください。
 - ③ 応援方法や施設利用のマナーについて、選手への事前指導をお願いします。

(11) 南北海道予選会参加にかかわる確認

大会終了後、全道大会への出場資格を得た選手・引率責任者を対象に出場意思と研修会の参加意思確認を行います。あわせて、可能な範囲で全道大会参加料と参加承諾書の集約も行う予定です。大会終了後に提出できない選手の方は、後日、大会事務局に報告と参加料の持参をお願いします。

※全道大会開催要項、参加承諾書等の関係書類は、準備が整い次第学校顧問、地域スポーツ団体指導者、またはそれに代わる引率者にご連絡します。

レフェリーから競技審判上の確認と連絡

本大会は、令和6年度（公財）日本バドミントン協会が定める競技規則、大会運営規程、公認審判員規程、および各連盟の申し合わせ事項にのっとり運営します。特に、以下のことに注意して下さい。

<競技規則>

1 サービス（第9条）

- 1-(1) サーバーとレシーバーがそれぞれの態勢を整えた後は、両サイドともサービスを不当に遅らせてはならない。
- 1-(2) サーバーのラケットヘッドの後方への動きの完了した時点がサービスの始まりで、サーバーのラケットヘッドの前方への初めての動きを不当に遅らせてはならない。
- 1-(6) サーバーのラケットで打たれる瞬間にシャトル全体がコート面から 1.15m以下でなければならない。（シャフトが下向きでなくてもフォルトではない。）

2 プレーの継続、不品行な振舞い、罰則（第16条）

- 3 プレーの中断 主審が認めた場合、あるいはレフェリーが主審に指示した場合。
- 4 プレーの遅延 プレーヤーはどんなことがあっても、体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはならない。

5 アドバイスとコートを離れることに関して

- (1) シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ中、アドバイスを受けることができる。（大会運営規程第25条参照）
- (2) プレーヤーはインターバルを除き、マッチ中、主審の許可なしにコートから離れてはならない。（ただしラリー中にコートサイドのラケットと交換しても構わない。）

7 違反に対する処置 (1)① 警告(イエローカード) (2)③ フォルト(レッドカード) (2) 失格

<大会運営規程>

- 3 服装については、第23条によるものとする。また、社会人・大学生は所属名、高校生は学校名、小中学生は所属名と氏名の背面表示またはゼッケン（4点留め）をすること。その際、文字列各行の高さは6～10cm、横30cm以内とする。（第24条参照）
- 4 個人戦において試合を棄権した選手は、それより後の同大会でエントリーしている種目全てにおいて出場できない。但しレフェリーによって認められた場合はその限りではない。
- 5 審判員の判定に対して疑問がある場合は、次のサービスがなされる前に、個人戦ではプレーヤーが、団体戦の場合は当該プレーヤーと監督に限り「質問」が認められる。（第36条）
- 6 競技進行の都合で、試合時間やコートを変更する場合がある。（付録2-1参照）
- 7 表彰式には原則として第1位～第3位まで、競技終了後の閉会式で行うものとするが、帰郷時間、交通事情等でやむを得ない理由がある場合、閉会式前に授与を行う場合がある。しかし、少なくとも第2位までは開催地に配慮して閉会式に参加することを義務づける。（付録1参照）

<公認審判員規程>

8 試合前後・中の注意事項（第5条）

- 5-(2) 練習時間の計測は主審が審判台に座ってから始まり「ラブ オール プレー」のコールで終わる。その際、「レディー トゥ プレー」をコールし、プレーヤーがマッチ開始の準備をするよう指示する。
- 6-(7) インターバルではどちらのサイドも同時に2人までコートに入ってきてよい。その際、主審が「…コート20秒」とコールしたらコートを離れるものとする。
- 9-(5) プレーヤーが線審に影響を及ぼすまたは脅迫しようとする行為は不品行な振舞いと判断する。
- 9-(6) プレーヤーが故意に、自分の汗でコートやその周辺を汚した時は不品行な振舞いと判断する。
- 9-(7) ラリー後の激しい行為（握った拳をあげる、相手に向かって叫ぶ）は不品行な振舞いと判断する。
- 12-(2) コーチはマッチにふさわしい服装でのぞむこと。（運動靴、長ズボン、チームユニフォーム等）
- 12-(3) コーチは許可されたインターバルの間を除き、指定された椅子に着席するものとし、マッチ中、コートのそばに立ってはいけない。
- 12-(6) コーチはマッチ中、連絡やコーチングのためにモバイル機器を使用してはならない。
- 12-(7) コーチによりプレーが混乱させられた場合は、レットとし、レフェリーが警告する。
- 14 マッチ中にケガや事故が生じた場合は、主審の判断によりマッチを中断する。その際レフェリーが呼ばれた場合、その判断に従うこと。出血の場合、止まるまで再開を遅らせる。
- 15 マッチ中、コート周辺でプレーヤーの携帯電話が鳴った時は不品行な振舞いと判断する。

1 全般的事項

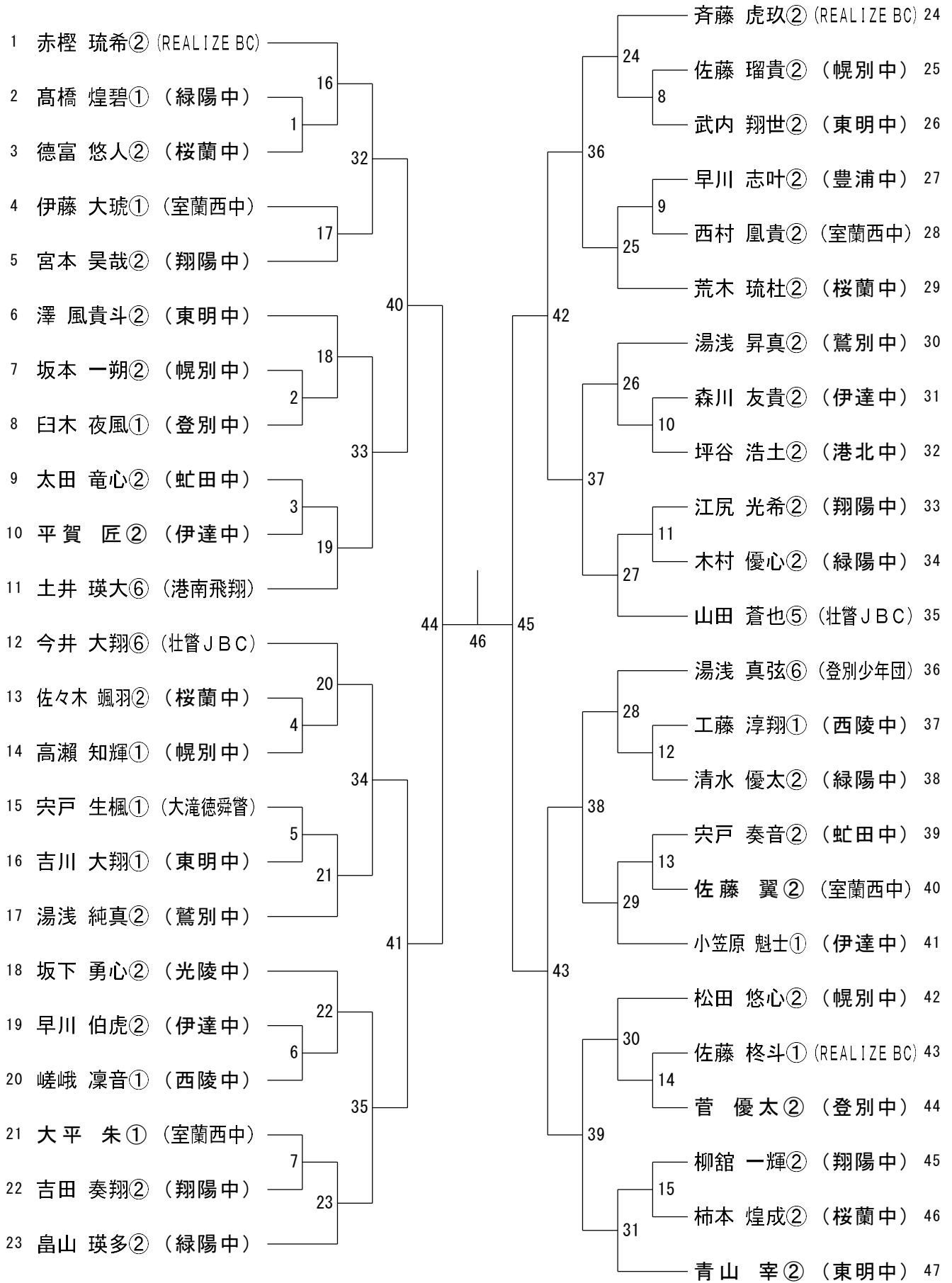
- ① サービス高を1.15mに固定するルールを適用する。ポストにコート面から1.15m高さのところにテープでマークを付け、そのマークを基準にコート面から1.15mの高さのところに水平面をイメージし、判定をする。
- ② 試合進行はできるだけタイムテーブルにそって進めるが、時間短縮のため流し込み方式で進める。試合開始時間・コートの変更がありえるので放送に注意すること。
- ③ 試合が連続する場合は、前の試合の後、10分間を確保して次の試合を開始する。
- ④ 入場について、番号の若い方プログラムで上に記載されている方が主審の左側に入ること。
- ⑤ アリーナ内については、選手またはIDを身に付けた人のみ入場することができる。
※コーチについては、男女各1名とする。
- ⑥ 競技の服装は審査合格品とする。また、北海道中学校バドミントン大会（中体連全道大会）に準じて、その大会要項に掲載されているゼッケンをつけ、四隅を留めることとする（背面表示がある上衣は、ゼッケンで全て覆い隠すこと）。なお、ウェアからはみ出すタイプのインナー等についても審査合格品とする。
- ⑦ 監督、コーチの服装に関しては試合にふさわしい服装とする。ただし、今大会においては、Tシャツ、長袖Tシャツの着用を認める。コーチングシートでの半ズボンは認めない。
- ⑧ ウェア上衣の裾は、入退場や挨拶時、インターバル時、マナーとして下衣に入れること。
- ⑨ 試合中の水分補給は、基本的に主審が汗ふきタイムを認めたときに、試合進行に影響が出ないように素早く済ませること。ただし、飲み物はスクイズボトルやペットボトルなどに入れること。
- ⑩ フロア内での飲食や、ハードタイプのクーラーボックスの持ち込みは禁止します。
- ⑪ 審判員の判定に対して疑問があるときは、当該プレーヤーが質問できる。
（大会運営規程第6章第36条）
- ⑫ 主審に関して、敗者審判制とする。
- ⑬ フラッシュや、ライトを点灯させての撮影、および、競技フロア内での撮影は禁止します。
- ⑭ 「レフェリー競技役員長から競技審判上の確認と連絡」のページを熟読すること。
コーチングシートに入れるのは、登録された監督・外部指導者(コーチ)・マネージャーのうち、いずれか2名、並びに選手のみとする。※今大会は、コーチングシートを2席設置する。
- ⑮ 主審はストップウォッチを首からかけ、シャトルが落ちた時から正確にインターバルの時間を測定すること。また、終了20秒前には声をかける。

2 感染対策に関する事項

- ① 今大会はカゴを用意しません。交換用ラケット（ケースから出しておく）、タオル、スクイズボトル、滑り止めなどはまとめてバッグに入れ、コートサイド（主審側に置くこと。また、衣類などその他の物はコーチングシートで保管すること。氷のうは、保冷バッグに入れてコーチングシートで保管すること。
- ② インターバル時のインターバルボードを使用する。
- ③ 大会会場に関する確認事項
 - ・換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行う。
 - ・密を避けるため、組み合わせやタイムテーブルの掲示はしない。
 - ・外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。
- ④ 競技関係者及び競技中の確認事項
 - ・選手、線審、得点係等大会関係者は、水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
 - ・選手同士や審判員との握手は行わない。
 - ・トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
 - ・正規のジャッジ方法で行う。主審、線審のコールも行う。

	1コート	2コート	3コート	4コート	5コート	6コート	7コート	8コート
08:15	女子シングルス 公開練習							
08:30	女子シングルス 公開練習				男子シングルス 公開練習			
08:45	男子シングルス 公開練習							
09:00	開会式・コート整備							
09:10	GS-1	GS-2	GS-3	GS-4	GS-5	GS-6	GS-7	GS-8
09:35	GS-9	GS-10	GS-11	GS-12	GS-13	GS-14	GS-15	GS-16
10:00	GS-17	GS-18	GS-19	GS-20	GS-21	BS-1	BS-2	BS-3
10:25	BS-4	BS-5	BS-6	BS-7	BS-8	BS-9	BS-10	BS-11
10:50	BS-12	BS-13	BS-14	BS-15	GS-22	GS-23	GS-24	GS-25
11:15	GS-26	GS-27	GS-28	GS-29	GS-30	GS-31	GS-32	GS-33
11:40	GS-34	GS-35	GS-36	GS-37	BS-16	BS-17	BS-18	BS-19
12:05	BS-20	BS-21	BS-22	BS-23	BS-24	BS-25	BS-26	BS-27
12:30	BS-28	BS-29	BS-30	BS-31	GS-38	GS-39	GS-40	GS-41
12:55	GS-42	GS-43	GS-44	GS-45	BS-32	BS-33	BS-34	BS-35
13:20	BS-36	BS-37	BS-38	BS-39				
13:45	GS-46	GS-47	GS-48	GS-49	BS-40	BS-41	BS-42	BS-43
14:10	GS-50	GS-51	BS-44	BS-45				
14:35	GS-決勝	GS-三決	BS-決勝	BS-三決				

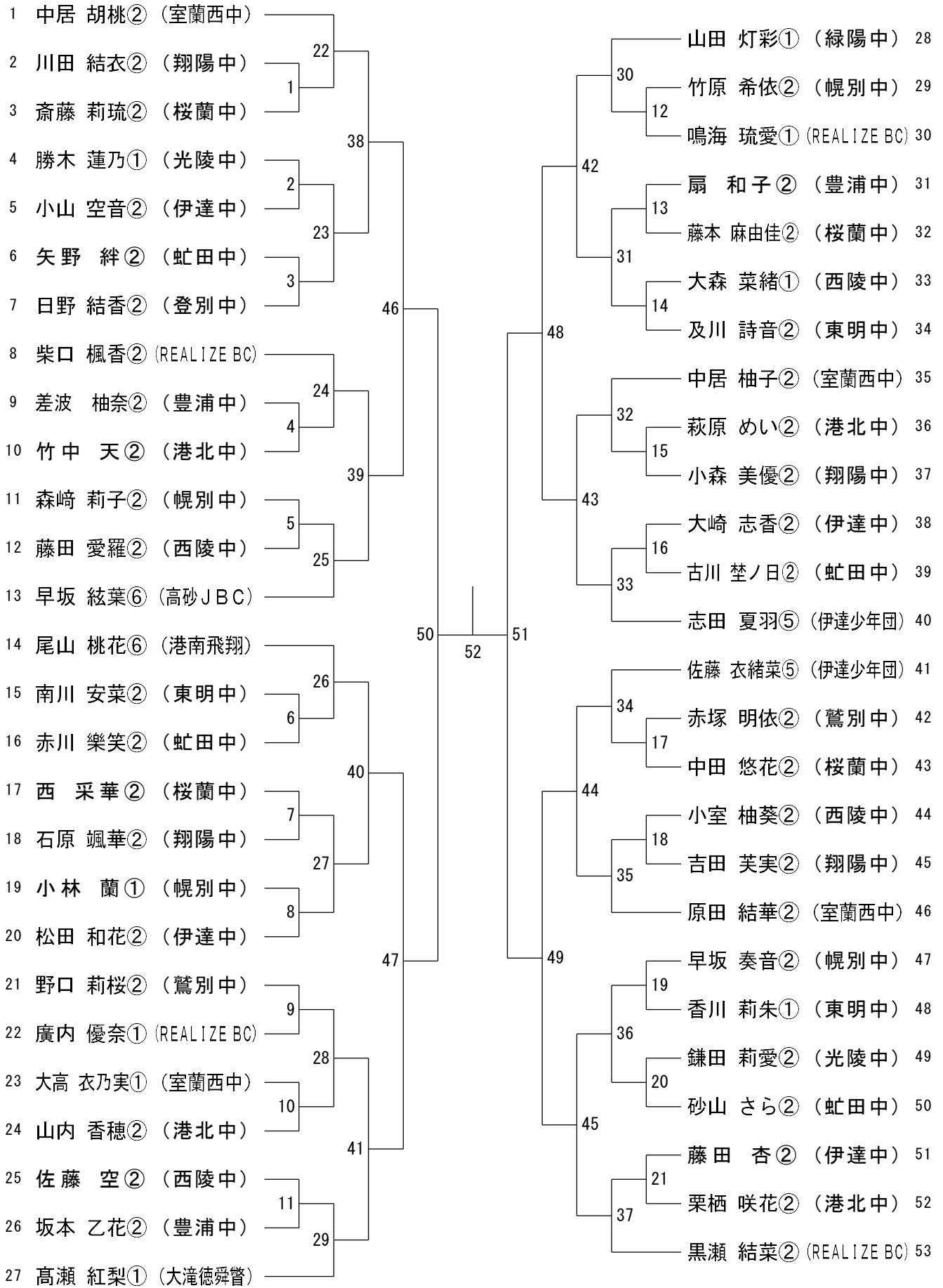
男子シングルス (BS)



三位決定戦



女子シングルス (GS)



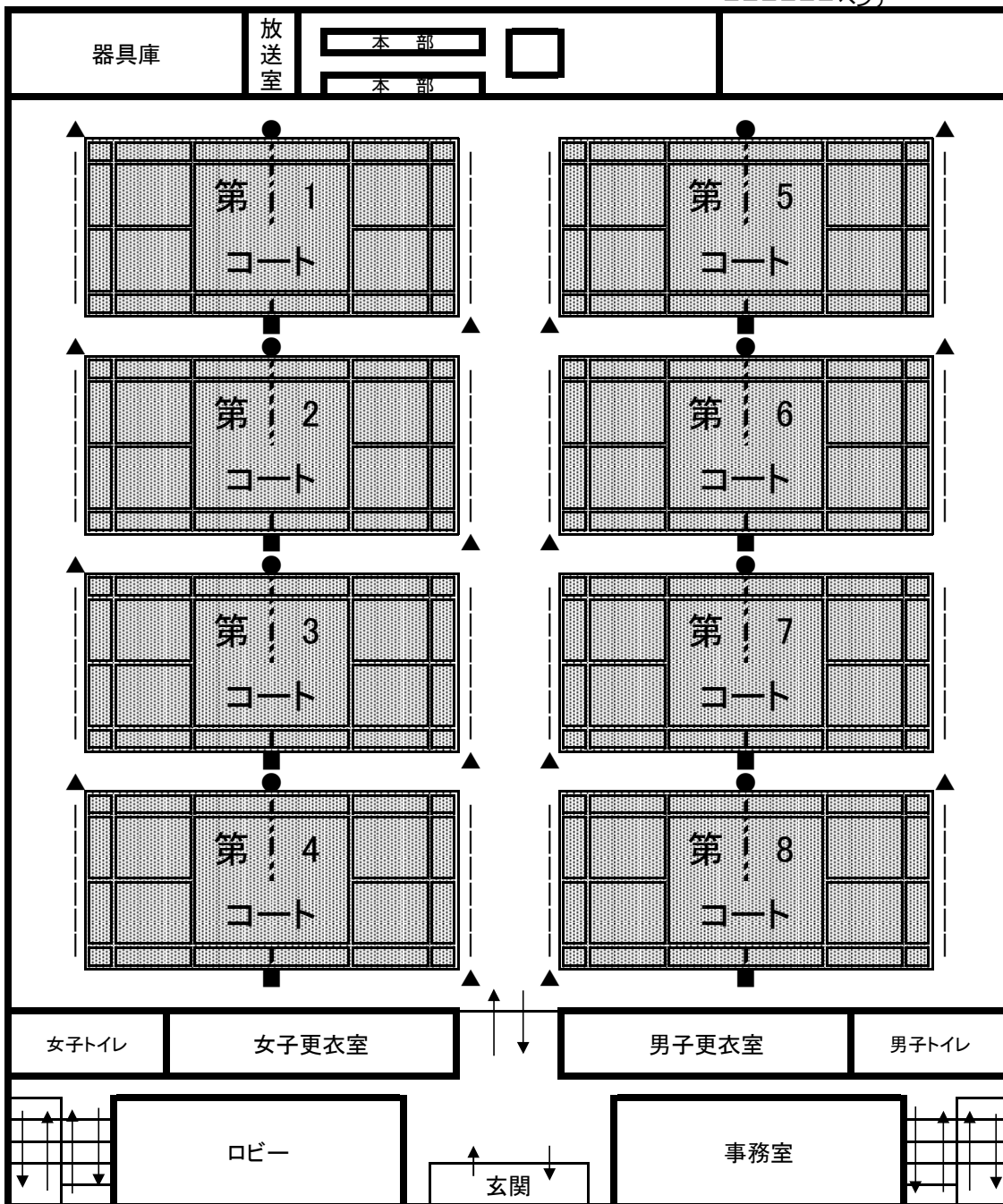
三位決定戦

53

●登別市総合体育館 会場図

1F

● 主審 ▲ 線審 ■ 得点係
-----ベンチ



3F



※体育館使用上の諸注意

- 1 館内は土足厳禁です。選手および応援者は必ず上靴を用意してください。
- 2 持ち物は指定の応援席に置き、盗難には十分気をつけてください。
- 3 ゴミは各校で責任をもって持ち帰ってください。
- 4 1Fアリーナでの観戦、応援は禁止します。
- 5 アリーナ以外での羽打ちは禁止します。
- 6 アリーナ・観客席でのカメラのフラッシュ撮影はご遠慮ください。
- 7 ロビーでは騒がしくならないようにお願いします。